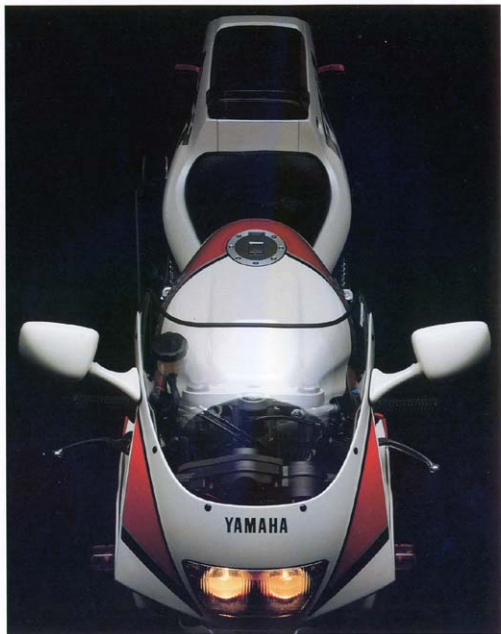


FZR250R

4-CYCLE SUPER SPORTS

YAMAHA





高性能はマシンに力と優しさを与えた。 「ヒューマンレスポンス」の進化形、 ニューFZR250R誕生。

テクノロジーの進化。それは、ただ単に速く走るためにだけ使われるべきではない。人とマシンとの信頼を深め、その絆を確かにしてゆけてこそ、本当の進化と呼べるのではないだろうか。ニューFZR250R。全回転域でライダーの期待に応えるパワーとレスポンスを発揮させる。ヤマハ独自の排気デバイス“EXUP”。安定性としなやかな運動性能を両立させたアルミデルタボックスフレーム。強力な制動能力と高いコントロール性



をあわせ
持つブレーキシステム。それら最新のテクノロジーを駆使したパーツ類のすべてが一体となることで、まるでライダーの気持ちをマシンが的確に捉えてゆくような、人とマシンとの新しい関係が実現した。そこには、ストレスなど存在しない、あるのはただ、忠実にマシンが応えてくれることへの、限らない喜びと、大きな感動だけだ。人の気持ちに応える高性能「ヒューマンレスポンス」。人とオートバイとのかぎりなく深い信頼関係が、ここにある。

POWER UNIT

人の気持ちに応える高性能「ヒューマンレスポンス」。

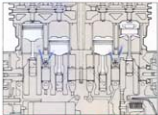
その実現のために、高速域でのスポーツ性と中低速域での扱いやすさを高次元で両立したパワーユニット。街乗りからツーリング、そしてワインディング走行まで、走ることの本来の喜びを与えてくれる。





ハイパワーと全回転域での扱いやすさを両立。前傾45度・4バルブ・DOHC・並列4気筒エンジン

本当にライダーの気持ちに添えるエンジンとは、何だろう。扱いやすさだけでは物足りない。ハイパワーだけなら、走りはざくざくしてしまふ。状況に応じ、常に必要なパワーを取り出すことのできるエンジンが理想といえるだろう。ニューFZR250Rのエンジンは、その理想に向けて、磨きあげ、鍛えあげられた。ヤマハ最新テクノロジーの結晶だ。軽量ピストン、ピストンクーラーなど、高回転域や苛酷な条件下での使用を考慮したスペシャルパーツ装備による、最高許容回転数18,000rpmという想像を超えるパワーバンド。最高出力45ps/16,000rpm、最大トルク2.5kg-m/12,000rpmを発揮するスペックの裏に秘めた、高回転域のハイパワーとスロットワークに即応する扱いやすさ。そして全回転域での扱いやすさ。45度という、大きなシリンダー前傾角度が実現した低重心化。さらに、点火時期のセッティング変更などにより、一層向上した始動性。まさに、「ヒューマンレスポンス」実現のためのエンジンだ。



エンジンポテンシャルを最大限に発揮させる。ヤマハ独自の排気デバイス“EXUP”装備

マフラーは、エンジンの使用面数に応じて、理想的な径や長さに変化する。その結果、あくまで理想を追求するならば、マフラーを何

本も準備し、付け替えなくてはならない。その難問を解決したのが、ヤマハが世界に先駆けて実現した4ストロークエンジンのための革新的な排気デバイス“EXUP”だ。マイクコンピュータを核とするコントロール



ユニットが、イグナイターユニットからのエンジン回転数信号を、排気バルブを駆動するソレノイドバルブに伝達。この回転数信号に対応して、4本のエキゾーストパイプ後端集合部に設けられたバルブが作動。エキゾーストパイプの後端面積を変化させ、エキゾーストパイプを変更したのと全く同じ効果を生み出す。中低速回転域では、充分に力強いトルクを生み出し、高速域では、胸のすく加速フィーリングを実現する。

さらに熟成された

ダウンドラフトタイプキャブレター

より多量の吸気量スムーズに燃焼室内に送り込むには、吸気の通り道筋の抵抗をできるだけ少なくすることが重要となる。そこで採用したのが、大きく前傾したシリンダーとエンジン上方にセットしたエアクリナーを、上から下へストレートな経路で結ぶ、ダウンドラフトタイプキャブレターだ。新たに、スロー系にブリータイプジェットを採用するなどの改良を加え、高速域はそのままに中低速レスポンスを向上させている。

吸気にも細心の配慮。FAJシステム採用

パワーユニットが高性能であるほど、吸入する空気のクオリティが問われる。FAJ（フレッシュエアインタークーラー）が、フェアリング部から新鮮な外気を導入することでこの問題を解決。常にクールで高密度な空気をエアクリナーに供給する。



CONTROLLABILITY

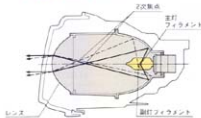
ムリな力を加えず、特別なテクニックも必要なく、
ただマシンが自然に人の思いを感じとって走ってゆく。
本当に高いコントロールビリティは、ライダーにそんな感覚をもたらしてくれる。
一体感という言葉すら超えてしまった「ヒューマン・レスポンス」の世界がここにある。





**アルミデルタボックスフレームと
リアアームがさらに進化**

ライダーの意思に敏感に反応するほどの高いコントロールビリティを獲得するためには、フレームの軽量化と高剛性化を同時に達成しなくてはならない。この相反する問題を解決したのが、アルミデルタボックスフレームだ。軽量のアルミ材を用い、剛性の高いボックス型断面を採用したこのフレームは、もともと力の加わるステアリングヘッド付近を太くし、リアピボット部に向けて細くするデルタ型を採用。力学的に極めて剛性の高い三角形をフレーム側面部分に採用することで一層の軽量化と高剛性化を実現している。さらにニューFZR250Rでは、フレーム部分に化学研磨処理をしたアルマイトを採用し、さらにアルミの輝きを高めている。
デュアルビームプロジェクターヘッドライトを採用したニューフェイス



より高い空力特性を実現するためには、フルフェアリングをどこまでスラントノーズ化できるかが重要なポイントとなる。そこで問題になるのがヘッドライトの大きさだ。従来の大径ヘッドライトでは、収めるスペースを確保するためにノーズ角度を小さくできない。小径で大光量を確保できるプロジェクターヘッドライトの開発により、この問題を解決。ニューFZR250Rは、ハイ/ロービーム切り替え式のプロジェクターヘッドライトをダブルで採用し、今まで以上に空力特性に優れたスラントノーズフェイスを実現している。さらに、ニューデザ

インのマフラーの採用や、YZF750と同世代インのテールライトの採用など、全身に次世代のスタイリングを施している。

**フロントブレーキに
タンク別体式マスターシリンダーと
アジャスタブルブレーキレバー**—新採用
優れたマシンは、優れたブレーキシステムを持ってはじめて完成する。いかに強力なパワーや卓越したコーナリング特性を身につけていても、それをコントロールするためのブレーキシステムがなくては能力を発揮できないからだ。ニューFZR250Rのフロントには、異径4ポットキャリパー装着フローティングダブルディスクブレーキを採用。マスターシリンダーをタンク別体式とし、シリンダー往無効ストロークの見直しを図り、ブレーキフィードバックを向上させた。さらに、4段階のレバー位置セッティングができるアジャスタブルブレーキレバーも採用している。リアのディスクブレーキとともに強力な制動力と良好なタッチを実現し、「ヒューマンレスポンス」を力強く支えているブレーキシステムだ。

**さらにライダーへの優しさを深めた
ニュークイックマンツ**

ハンドル、フットレスト、ブレーキペダルは、軽量のアルミ製。また、人間工学に基づき、使いやすさを追求した新設計ハンドルスイッチ類の採用に加え、カートリッジ式オイルエレメントの採用など、随所で操作性をさらに向上させている。





●カラー・ホワイト/アパレル



●カラー・ブラック/ブラック

FZR250R メーカー希望小売価格¥608,000

●盗難防止装置、防犯カメラの取付け、盗難防止の準備は必須です。
●盗難防止装置は別途取付料がかかります。●カラー・ホワイト/アパレルは選
要オプション価格(¥10,000)がかかります。

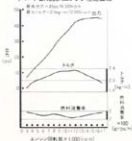
FZR250R仕様一覧

型式	3LN
全長・全幅・全高	1,930mm・625mm・1,100mm
軸距	1,320mm
シート高・最低地上高	735mm・140mm
乾燥質量	185kg
燃費・定速走行時(100km/h)	42.0km/l(50km/h)
最小回転半径	3.9m
制動伸び距離	14.0m(50km/h)
エンジン種類	4サイクル・水冷・DOHC・4バルブ
気筒数/配列・総排気量	2気筒/直列・249cc
内径×行程	43.0mm×34.5mm
圧縮比	12.0:1
最高出力	45ps/16,000rpm
最大トルク	2.54kgm/12,000rpm

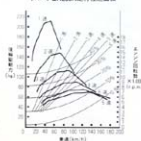
点火方式	フルタイムプラグ
駆動方式	軸伝動
燃料タンク容量	14l
エンジンオイル容量	2.7l
潤滑方式	強制循環ウェットサンプ
バルブクリアランス	IN・15mm(10)・DM3.5A
1次減速機構・減速比	ステップ・2.54/0.76
2次減速機構・減速比	チェーン・3.254/56/1.7
クラッチ形式	湿式多板
変速機形式	シャフト式5速
変速比	1.000/0.714/1.177/1.500/1.925/1.173
フレーム形式	プレスパイプシャーシ
フォーク・トリール	24/30・67mm
タイヤサイズ(前・後)	100-90/17・55-100/70/17 62H
制動装置(前・後)	前正式ディスク・後正式ディスク

●燃費は定められた試験条件のもとで測定されており、実際の走行時(道路・車速・整備などの諸条件)によって異なります。●最低燃費はあくまで目安です。●仕様変更などにより、写真や内装の一部と異なる場合があります。●ステップ・1は2段階のため、実物と異なる見られる場合があります。

ヤマハFZR250Rエンジン性能曲線



ヤマハFZR250R走行性能曲線



HAVE A NICE RIDE! ナイスライディングをよろしく。

- ヘルメットを正しくおはきしよう。■バイクは整備もライト・オン。■点検・整備を忘れずに。
- 安全のための改造はやめよう。■騒音防止のため必要ならにはやめよう。
- 安全速度で走りましょう。無理な走りは止めよう。●よく見る、よく聞けることおぼえよう。
- 道路のカーブ・オンは必ずヘルム・ビームで。■道路状況に適した車内での公道走行はできません。
- カーブ・オン地点ではローディングダウン。●R3で正しいロードポジションをマスターしよう。

Y.E.S.S. バイクライフを大きく広げる Y.E.S.S.に、参加しませんか?

●Y.E.S.S. (イエス)とは、YAMAHA EARTHY SPORTS STAFF の略、バイクを極にした幅広い楽しみを提供する、まったく新しいクラブです。●特典いろいろ、入会のお申し込み、お問合せは、Y.E.S.S.のステッカーのあるY.E.S.S.加盟店へどうぞ。

JRS Concept-Ride ヤマハライディングスクールに参加しませんか?

国際A級ライダーやヤマハのインストラクターが理論と実践の両面からライディングテクニクを伝授、クロズドコースでのサーキットランが、日常の楽しみを大きく飛躍させます。お問合せ、お申し込みは、このマークのヤマハ販売店へ。

「私財に頼らずにお手軽なバイクの買い方です。」

ヤマハの「お金のCOL-リン」 3回から36回までの分割払い(月々のお支払いは3,000円から)、ボーナスでの一括払いや2回払いなど、ご希望に合わせていくつものコースから選択できる便利なクレジットです。販売店でおたねください。

近頃見られるいふ運社
バイクは整備もライト・オン / **I'm here.**

YAMAHA
ヤマハ発動機株式会社
〒136 赤羽南町南町1-2500
0671-6100(3)・0181-1011